

保護者・地域の皆様

本年度行われました全国学力・学習状況調査(6年生対象)の結果並びに調査結果に基づく指導方法等の改善計画をお知らせします。なお、本年度は、全国的な一斉調査の中、本校は抽出校として実施しました。広島市では、どの学校においても実施し、学校の実態に応じて分析し、活用方法を考えました。本校でも、昨年、一昨年に引き続き、定着及び改善状況を把握するため、集計・分析を行い、学力向上に向けて取り組んでいきます。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の実施日 平成24年4月17日(火)

3 調査実施人数 第6学年 113名

4 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語, 算数, 理科)

主として知識に関する問題【A問題】

◇身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
◇実生活において不可欠であり常に活用できるようにしていることが望ましい知識・技能

主として活用に関する問題【B問題】

◇知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
◇様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査

◇学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校に対する調査

◇指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

5 各教科の平均正答率

	国語		算数		理科
	A問題	B問題	A問題	B問題	AB問題
本校	80.4	55.8	70.4	58.3	62.4
広島県	83.6	58.1	75.4	60.5	62.9

1 教科について

6 各教科の調査結果の概要

【小学校国語】

【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)	
	本校	広島県
話すこと 聞くこと	81.1	81.6
書くこと	63.7	62.6
読むこと	84.3	84.0
言語事項	81.6	87.9

定着状況
・知識を問うA問題の通過率は、80.4%であり、概ね学力は定着しているが、活用する力を問うB問題については、全ての領域で通過率が低い。特に書くことと言語事項については、5割の定着率である。

【小学校算数】

領域	平均正答率(%)	
	本校	広島県
話すこと 聞くこと	64.6	65.8
書くこと	48.5	50.1
読むこと	54.3	57.5
言語事項	50.4	60.6

課題
・内容を結びつけながら読み、事実を明確にして自分の考えを記述する。
・手紙の構成を理解し、後付を書くこと。
・目的に応じて、文章の要旨を的確に捉え、複数の文章を結びつけながら読むこと。

【小学校算数】

【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)	
	本校	広島県
数と計算	73.5	76.1
量と測定	67.0	74.0
図形	72.0	76.5
数量関係	65.2	77.9

定着状況
・課題解決のため構想を立て実践、評価、改善する力を問うB問題の正答率が低い。
・整数、小数、分数の四則計算や角の大きさを求めることは、相当数の児童ができています。

【小学校理科】

領域	平均正答率(%)	
	本校	広島県
数と計算	52.2	55.2
量と測定	60.4	62.2
図形	62.8	65.1
数量関係	50.0	51.9

課題
・加減乗除の混ざった計算式を立て、計算すること。
・割合の意味の理解。
・秤を読み取ること。
・日常生活の中の問題を、既習事項を生かしながら、解決の構想を立てたり、実践したりする力。

【小学校理科】

【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)	
	本校	広島県
物質	63.3	63.0
エネルギー	63.5	62.5
生命	67.4	70.3
地球	52.9	52.5

定着状況
・知識を問うA問題の通過率は、69.5%、活用を問うB問題の通過率は59.4%であった。
・観察機会の多い「生命」の定着状況が比較的高く、「地球」の定着状況が低い。

【課題】

・眼鏡や方位磁針の適切な操作方法を身につけること。
・天気の様子と気温の変化の関係について、データを基に分析し、その理由を考えること。
・実験結果を基に分析し、理由や要因を考えたり、まとめて記述したりすること。

2 意識調査について

(1) 生活・学習

- 自分にはよいところがあるという自己肯定感を持っている児童が多い。
- 学校で友達に会うことを楽しみにしており、友達との約束も守っている。
- いじめはいけないと考えており、将来は役立つ人間になりたいと考えている。
- △就寝時刻が11時を過ぎている児童が3割近くいる。
- △ふだん(月～金)3時間以上TVやDVDを視聴している児童が4割を超えている。

(2) 教科

- 国語 ○国語の学習は大切で、将来役立つとほとんどの児童が考えている。
△読書を苦手としている児童の割合が3割を超えている。
△4割の児童が長文読解を苦手としている。
- 算数 ○9割の児童が算数の勉強は大切だと考えている。
△解き方が分からないとき、あきらめてしまう児童が3割近くいる。
- 理科 ○観察や実験が好きで、内容が分かると回答している児童が9割を超えている。
△授業中自分の考えを説明したり発表したりする児童は6割である。

3 確かな学力の定着と向上に関する研究目標

《学校教育目標》
よく考え、心身たくましく、心豊かな子を育てる

《研究主題》
自分の考えをもち、学び合う子どもを育てる授業の創造
～かかわり合い、伝え合う活動を通して～

4 指導改善に向けた具体的な取り組み

- 生活・学習習慣等
・家庭との連携を密にして家庭学習を定着させるとともに、睡眠時間の確保やテレビ・ゲームの時間を減らす等基本的な生活習慣を身に付けさせるようにする。
・子どもたちの旺盛な学習意欲をさらに喚起し、話し合う活動を充実させ、学びを実感するような授業の展開を目指す。
- 国語
・目的に応じて効果的な読み方を選択し、活用する指導を充実させる。特に文学的文章については、場面をとらえて作者の意図や意味を考えさせる授業を展開する。
・自分と相手の考えの共通点や相違点を明確にし、効果的に書く指導を充実させる。
- 算数
・多様な考えを持ち、その考え方を発表したり、解決方法を説明したりする授業を展開する。
・帯時間を利用してドリル学習を計画的に行うなど、基礎・基本の確実な定着を図る。
- 理科
・観察や実験、体験活動を通して科学への関心を高め、科学的な見方や考え方を育成する。
・観察・実験の結果を整理し考察し表現する学習活動を重視する。